

## ピレモンへの手紙

一 キリスト・イエスの囚人パウロと兄弟テモテから、わたしたちの愛する同労者ピレモン、二 姉妹アピヤ、わたしたちの戦友アルキボ、ならびに、あなたの家にある教会へ。

三 わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

四 わたしは、祈の時にあなたをおぼえて、いつもわたしの神に感謝している。五 それは、主イエスに対し、また、すべての聖徒に対するあなたの愛と信仰とについて、聞いてゐるからである。六 どうか、あなたの信仰の交わりが強められて、わたしたちの間でキリストのためになされてゐるすべての良いことが、知られて来るようになってほしい。七 兄弟よ。わたしは、あなたの愛によって多くの喜びと慰めとを与えられた。聖徒たちの心が、あなたによって力づけられたからである。

八 こういうわけで、わたしは、キリストにあってあなたのなすべき事を、きわめて卒直に指示してもよいと思うが、九 むしろ、愛のゆえにお願いする。すでに老年になり、今またキリスト・イエスの囚人となつてゐるこのパウロが、一〇 捕われの身で産んだわたしの子供オネシモ

について、あなたにお願いする。二 彼は以前は、あなたにとって無益な者であつたが、今は、あなたにも、わたしにも、有益な者になつた。三 彼をあなたのもとに送りかえす。彼はわたしの心である。四 わたしは彼を身近に引きとめておいて、わたしが福音のために捕われてゐる間、あなたに代つて仕えてもらひたかつたのである。五 しかし、わたしは、あなたの承諾なしには何もしたくない。六 あなたが強制されて良い行いをするのではなく、自発的にすることを願つてゐる。七 彼がしばらくの間あなたから離れてゐたのは、あなたが彼をいつまでも留めておくためであつたかも知れない。八 しかも、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上のもの、愛する兄弟としてである。九 とりわけ、わたしにとってそうであるが、ましてあなたにとっては、肉においても、主にあって、それ以上であらう。一〇 そこで、もしわたしをあなたの信仰の友と思つてくれるなら、わたし同様に彼を受け入れてほしい。一一 もし、彼があなたに何か不都合なことをしたか、あるいは、何か負債があれば、それをわたしの借りにしておいてほしい。一二 このパウロが手ずからしるす、わたしがそれを返済する。この際、あなたが、あなた自身をわたしに負うてゐることについては、何も言ひない。一三 兄弟よ。わたしはあなたから、主にあって何か益を得たいものである。わたしの心を、主にあって力づけてもらひたい。一四

